（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（松本地域）

令和５年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	守ろう！伝えよう！朝日村の文化財事業
事業主体 （連絡先）	朝日村 （朝日村教育委員会教育政策課　電話 0263-99-4105　担当者：丸山真由美）
事業区分	（１）地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ハード
総事業費	６６０，０００円（うち支援金：４９５，０００円）

事 業 内 容

１．ふるさと探検隊、村内文化財めぐり、朝日村歴史講座を文化財にからめて企画し、実施した。（延べ参加者 71 人）
２．山の斜面にあるカタクリ群生地を鑑賞しやすくするため業者に委託して重機で地盤整備し、階段状の遊歩道を整備した。また、住民協働により擬木杭とロープで保護柵の設置を行った。（延べ参加者 11 人）
３．常時公開されている村の文化財を塩尻・山形・朝日サイクルツーリズムの観光スポットとして冊子に紹介した。

【カタクリ群生地保護柵設置作業】

【目標・ねらい】

① 村の文化財に触れる機会を提供し、住民の認知度を高める
② 朝日村の村花であるカタクリの群生地を住民で保護し、守る意識を高める
③ サイクルツーリズムへのＰＲ

※自己評価【　Ｂ　】

【理由】
文化財を取り入れたイベントや講座を企画し開催したところ、幅広い年代の方が参加してくれ、村の文化財に関心を持つ村民を増やせた。

事 業 効 果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①「ふるさと探検隊」には子どもも親子で参加でき、地域の文化財の継承につなげられた。
②カタクリの群生地では村の天然記念物に指定されているヒメギフチョウも見られ、開花シーズンには村外から多くのファンが訪れるため、今回の整備作業により地域の文化財に対する住民の誇りが生まれ、カタクリ群生地を住民協働で整備していく機運が高まった。
③『新録朝日村小辞典』という朝日村の観光ガイドブックに自転車で立ち寄れる文化財情報を掲載したところ、道祖神めぐりの問い合わせがあった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後も歩いて回れる範囲で「ふるさと探検隊」を企画し、文化財の継承を継続できるよう分館や地区と連携しながら実施していきたい。毎年カタクリの開花シーズン前に、地域住民で遊歩道の清掃をする機会を設け、あわせてカタクリやヒメギフチョウについて学ぶ時間をつくるなど、村の文化財や歴史が継承されるよう工夫していく。また、引き続き塩尻・山形・朝日サイクルツーリズムと連携して文化財を紹介し、村の観光スポットとして定着を図る。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある